

げっこうはら幼稚園保護者説明会における主な質疑（要旨）

7月26日 13:35~15:10 発言者 11人

	質 問	回 答
1	<p>保育園待機児は何歳が多いのか。認定こども園にしても、幼稚園型で、3、4、5歳児のみの認定こども園では待機児解消にならないのではないか。</p> <p>げっこうはら幼稚園をみどりがおか幼稚園と同じように預かり保育を行えば、認定こども園にしなくてもよいのではないか。認定こども園にして何がかわるのか。</p>	<p>待機児は低年齢児が多い。待機児解消を幼稚園型認定こども園でストレートにやっというということではなく、区立幼稚園5園のうち2園の保育園転用で低年齢児の待機児解消に対応していこうということである。</p> <p>認定こども園と幼稚園の預かり保育とで異なる点は、給食の提供や、教育課程外の保育の充実、子育て支援事業などであり、積極的な意味で幼稚園教育と保育との一体的な提供をしていこうという考えである。</p>
2	<p>なぜ、区立幼稚園を選択したかといえば、3年保育ではなく、小学校に入る前の2年間を、温かみのある小規模の公立幼稚園に入れたい、そういう思いである。来年下の子は入れるが、その下の子は入れない。そのような人たちの行く場はどこになるのか。認定こども園になるといっても、区立幼稚園がなくなってしまうという印象がある。</p>	<p>げっこうはら幼稚園は平成26年度から認定こども園に移行するが、現在想定しているのは幼稚園型であり、法的には幼稚園である。これまでと同じ時間の利用に加え長時間の保育も行う。これまでどおり幼稚園入園希望者は、応募していただければと考えている。</p>
3	<p>私達は長時間保育を望んではいない。また、3歳児から入れるということになると、今まで私立幼稚園に入れていた人たちが流れてきて、区立幼稚園の2年保育を希望した人が入れなくなるのではないか。この方向はもう決定なのか。</p>	<p>3歳児からの保育も検討はしていくが、決定している訳ではない。仮に3歳児保育ができるようになったとしても、定員枠は絞らざるを得ないと思うので、4歳児から入れる枠はあると考えている。</p> <p>また、長時間枠と短時間枠の人数をどうするかも考えていく。げっこうはら幼稚園とみどりがおか幼稚園の認定こども園移行は、区の実施計画で移行年次も決まっている。</p>
4	<p>区立幼稚園の充足率は80%というが、みどりがおか幼稚園では抽選になった。認定こども園に移行すると、人気が出て定員が変わるのか。</p>	<p>みどりがおか幼稚園では、平成22年度の入園募集を行った際抽選となったが、預かり保育をやっているからではなく、地域的に需要が多いという印象がある。</p> <p>げっこうはら幼稚園は地域的に利用者が少ないが、認定こども園にすることで充実した保育を行い、みなさんの期待に応えていきたい。抽選になる場合も想定し、入園決定時期のタイミングなどは考えていかなければならないと思っている。</p>
5	<p>上の子はふどう幼稚園に入れたが、下の子は入れなくなる。げっこうはら幼稚園は今35人定員のうち、在園が21人、その余った10何人の枠を保育に欠けるお子さんの枠として認定こども園にすると、ふどう幼稚園の地域からこちらを希望する人が入れなくなる。定員を拡充するなど、受け皿を確保するというを数字と共に保障して欲しい。 (同様の意見あり)</p>	<p>げっこうはら幼稚園は実施計画で改築であるが、1学年の定員拡大は、今のところしない方向で考えている。定員35人を超えると2クラス必要になり、教員も2人配置が必要となる。そこまでして拡大していくという考えはないので、確実に入園できる保証というのは難しい。</p>
6	<p>認定こども園になると入園料や保育料はいくらくらいになるのか。</p>	<p>入園料や保育料の算定は、原価計算を行うことになるが、今後検討していく。</p> <p>認定こども園の長時間保育利用の保育料を算出する場合、保育園保育料との関係も含めて考えていきたい。短時間保育利用の保育料はそれほど変わらないのではないかと考えている。</p>

	質 問	回 答
7	<p>保育園に申し込んでいるが、今、補欠番号が80番といわれている。認定こども園が最悪抽選になった場合、保育園の書類で80番だったから調整しようということになるのか。認定こども園が幼稚園と保育園の間ということなら、それが加味されることはあるのか。</p>	<p>幼稚園型認定こども園なので、入園選考の基本は抽選と考えている。短時間と長時間の枠や具体的な抽選方法については、今後検討していく。今のところ、保育園を待っていることへの事情を考慮するという方法ではなく、抽選をベースにやっていくイメージである。これについては、年内に考え方を出していきたい。</p>
8	<p>例えば、35人定員の中で20人が短時間、15人が長時間と決めた場合、区立の2年保育や3年保育の短時間保育がよいと考えている人は、抽選で20人の枠に入らなかったら、私立へ行ってくださいということか。</p>	<p>仮に20人が短時間枠、15人が長時間枠で、別々に抽選とした場合、結果として短時間枠が抽選になり、長時間枠に空きが出るということも考えられる。単純に私立に行ってくださいということではなく、最初の枠の設定をどうするか、抽選後の定員変更の可能性なども含めて考えていきたい。</p>
9	<p>若いお母さんたちは、昔からどのような計画があったか知らない。自分たちのことを本当に考えてくれているのか、と疑問をもつ。区がどのような計画で動いているのかを、毎年、何かの方法で区民に知らせることができないか。認定こども園になった場合3・4・5歳児の3年保育になるのか。</p>	<p>げっこうはら幼稚園の認定こども園移行は、平成19年度からの実施計画の中で行う予定であったが、様々な状況の中でできなかった。昨年度皆さんの意見をいただいて改定した実施計画で改めて平成26年度移行を目指している。実施計画は周知もしていたが、お子さんが該当年齢でないと目に留まりづらいのかなと思う。 認定こども園移行で、区としては3歳児からの保育も含めて検討し、私立幼稚園にも理解を求めていきたいということである。</p>
10	<p>そのうち区立幼稚園が全部なくなってしまうのではないかと不安である。幼稚園には幼稚園のよさがある。待機児が多いということは自分も70番として経験しているのでよくわかる。2園は保育園転用ということだが、そのうち他の3園も保育園に変わってしまうのではないかと不安がある。教育委員会としてはどう考えているのか。区立幼稚園が全部保育園になって、幼稚園に行きたい人は私立へということになるのではとか、この先どうなるのかと思う。</p>	<p>区立幼稚園5園のうち、2園は保育園、3園は認定こども園にしていこうということである。 みどりがおか幼稚園とげっこうはら幼稚園は、実施計画で移行時期の年次まで決めている。幼稚園型ということは、幼稚園として長時間保育も行うことであり、全部保育園にするという考え方ではない。</p>
11	<p>廃園の時期を平成25年3月末ではなく、もう少し先に延ばすことはできないか。</p>	<p>平成25年3月末を目途としているのは、一つには保育園の待機児解消を早くしていきたいということである。平成22年度の待機児は51人だが、認可保育所に入れなかったのは450人程度いる。こうした状況を早く解消したい。 さらに、平成25年4月から、認定こども園としてみどりがおかがスタートする。移行にあたっては3歳児からの保育も含めて検討はしていきたいし、長時間保育もある。充実した保育ができるよう幼稚園教諭や保育士などスタッフを揃える必要がある。 目途とは、それを目指すということである。</p>
12	<p>改築ということなら先生たちの確保は大変かもしれないが、教室を1つ増やすことを考える余地はあるのではないかと。希望者全員を受け入れるというのではないが、配慮して欲しい。品川区の幼稚園では、幼保一体化のなかで幼稚園枠を減らそうとして、反対運動があり、幼稚園枠30、保育園枠30で2クラスに増やした。隣の区で子ども支援をやっているのに、目黒は考えてくれないのか。</p>	<p>げっこうはら幼稚園は改築をするので、どのような園にするかを骨子案として今年度中にある程度固めていく。4、5歳児に加え3歳児や、場合によってはもう少し低年齢も含めてこれから考えていくが、実施計画の計画額の範囲で、各学年2クラスというのは難しいと考えている。</p>

	質 問	回 答
13	<p>今回5園で区立幼稚園の見直しに関する説明会が開かれることに対して、この件の指揮者である区長や教育長に直に説明いただきたいと要望していたが、実現しなかったのはなぜか。今回の区立幼稚園の見直しは区長や教育長にとって、それほど大きな問題ではなかったのか。</p>	<p>教育改革推進課は、区立幼稚園の見直しを担当している。担当所管がきちっと説明していくことが基本である。</p> <p>この件については、区長も教育長も10年来の大きな課題であると認識している。だからといって、自ら陣頭指揮に立って、自ら回答するというのではなく、組織として仕事をしているので、私どもとしては、報告・連絡・相談をしながら、担当所管として責任をもって説明していくということである。</p>